



楽しみながら、仮説、実験、納得！

子供達は自分の感覚を使って繰り返し体験する中で、仮説、実験、納得をしながら、ものごとを学んでいきます。

教えて！マサミ先生！「『期待通りになる』という快い安心」

おむつが濡れて不快になると、必ずおむつを取り替えてきれいにしてくれる人がいて、お腹がすいて泣くと、必ず授乳してくれる人がいる。そこにある顔がいつも同じで、「不快」を「快」にいつも同じように導いてくれる。この「同じ」お世話の繰り返しにより乳児は「期待」を覚えます。この「期待」が「繰り返し遊び」の原点です。姿勢や手指の発達が進むと、「積木を重ねる・崩れる」「叩く・動く・音が出る」といったチャレンジタイプの繰り返し遊びが始まり、期待通りになると喜びを、子どもは満足するまで繰り返します。

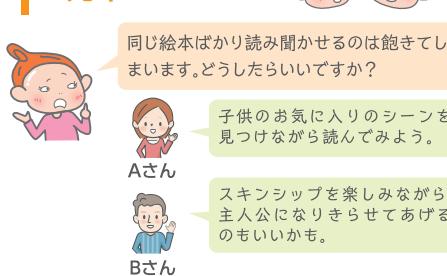
0歳のおむつ替えから、およそ2歳のチャレンジタイプの繰り返し遊びへの変遷は、「期待通りになる」という快い安心を、他者に与えてもらうことから自分で得るものへの変換過程。この心の自立過程に傍らにいる大人が楽しく寄り添ってあげるといいですね。



七木田方美 先生

比治山大学短期大学部幼児教育科 教授／研究分野は、乳幼児保健学（感覚の発達・アタッチメント・障がい児保育）、保育等に関する著書・研究多数

先輩パパママの アドバイス



＼お家の子育てと教育をサポートします／
子育てのコツなどを見てみよう！

親子コミ ひろしま

検索

広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載！

子育て・家庭教育 広島



「遊び」のなかに 「遊び」がいっぱい！

毎日同じ遊びばかりで
楽しいのかな？



遊び 学び 育つ ひろしまっ子！
広島県教育委員会乳幼児教育支援センター



子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです！



「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



繰り返し遊びにも「学び」がいっぱい！

『何これ！おもしろい！ふしぎだね！』



ティッシュを引っ張ると出てくる。また引っ張ると出てくる。
何これ！楽しい！を繰り返しながら、いろいろな発見をしているの
かもしれませんね。

感じる・
気付く
力
うごく
力
やりぬく
力

ポイント
！

大人にとっては「もったいない」や「散らかる」という思いが先立ちますが、

仕組みの理解 >> 安心感
大人の見守り >>

子供は同じことを繰り返すことで、「こうするとこうなる」という仕組みがあることを理解すると同時に、大人の見守りによって「やってもいいんだ」という安心感も得ています。



同じことを繰り返しているように見えるけれど、
子供にとってはドキドキのチャレンジかもしれません。
ゆっくり見守ってあげると子供の心は満たされていくでしょう。



シーン3 どんどん出でぐる
トイレットペーパー



繰り返し遊びは、物事には
仕組みがあるということに気づく
芽生えにつながる遊びです。



感じる・
気付く
力
考える
力
やりぬく
力
人と
かかわる
力

『気に入った絵本を
繰り返し読んでもらう』

大好きな絵本を繰り返し読む中で想像をふくらませ、絵本の世界の中に引き込まれ
ていきます。「もう1回！」という言葉に、子供の「この本大好き！」「もっと知りたい」
というその絵本への興味関心が詰まっています。

子供にとっては安心感や好奇心に繋がっています。

好奇心を育てよう！

自分がやってみると何かが反応する、という体験は、「なぜ？」、「もっとやってみたい！」という好奇心の原動力になります。

番外編
「もう1回！」
お気に入りの絵本を
繰り返し読んでもらう



乳児(0~2歳)シリーズ
①排泄自立編に
載っているよ！